

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1189	(H.24)No.	1189
-----------	------	-----------	------

事務事業名		教育フォーラム事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		教育総務室		今井寛	63-7849
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	463601
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	教育フォーラム事業	
項	教育総務費	(小事業名)	
目	教育振興費	教育フォーラム事業	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
名張市教育振興基本計画に位置づけている「教育フォーラム」を開催する	

めざす効果(事業目的)	
教育フォーラムの開催により、教育関係者、保護者、地域住民が一同に会し、教育活動の実践・研究の成果発表の場、または交流の場とし、「名張市のめざす教育」「名張市のめざす子ども像」を共通認識し、市民みんなで子どもを育てるしくみを構築する。	

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
主な事業の実績・計画	報償費 103千円 消耗品費 6千円 印刷製本費 128千円 会場使用料 101千円		報償費 148千円 需用費 70千円 消耗品費 20千円 印刷製本費 50千円 委託料 52千円 役務費 16千円 運搬費 16千円 会場使用料 90千円		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ( )		
<b>直接事業費</b>	<b>338千円</b>	<b>376千円</b>	<b>376千円</b>	<b>376千円</b>	<b>376千円</b>	<b>376千円</b>	<b>376千円</b>
財源内訳(千円)							
国庫支出金							
県支出金							
地方債							
その他( )							
一般財源	(0)	338	376	376	376	376	376
人工数							
職員	0.12人		0.12人		0.12人	0.12人	0.12人
臨時職員等							
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円)</b>	<b>876千円</b>	<b>876千円</b>	<b>876千円</b>	<b>876千円</b>	<b>876千円</b>	<b>876千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円)</b>	<b>1,214千円</b>	<b>1,252千円</b>	<b>1,252千円</b>	<b>1,252千円</b>	<b>1,252千円</b>	<b>1,252千円</b>

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	小・中学校の教育環境に満足している市民の割合	%	-	-	-	-
	実績			59.2	57.5	59.6	60.6
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
平成23年度は第1回目の開催で、平成22年度に策定した名張市教育ビジョンを広く市民の皆様にお知らせする目的で企画実施しました。 初めての催しであったことと、祝祭日(11月23日)の開催であったことから当日参加者の確保に苦慮しました。	毎年継続的に実施することとし、年度ごとにテーマを決めて既存の事業との連携も考慮して、より効果的、効率的な事業実施に努めます。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
催事が増えると、主催者、参加者ともに運営動員や参加動員されることにより負担が増えることになるため、既存の事業との共催など工夫が求められています。	

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	前年度(第1回)の反省を活かし、事業内容について検討を行っているところである。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	前年度(第1回)の反省を活かし、事業内容について検討を行っているところである。

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項